

地区社協感謝デー

(チャリティーバザーテント村)



若葉台地区社会福祉協議会感謝デー (チャリティーバザーテント村)

(福祉部会長 峰松雅子)

恒例の「福祉まつり」チャリティーバザーテント村は、地域の福祉団体や多くの方々のお力を借りて支えられて来ました。

チャリティーバザーテント村の主旨は、若葉台の「福祉のまちづくり」に、地区社会福祉協議会や多くの福祉活動グループによって幅広く展開されているのではないのでしょうか？ 今後もより一層充実した活動を行っていくための自助努力による資金づくりの一環として、今年もチャリティーバザーを実施することになりました。

昨年は、大雨にもかかわらず大勢の方が出かけて下さった事感謝でいっぱいでした。反省を含み

実行委員会でいろいろ議論した結果、雨天中止と致しました。又、イベント名も若葉台地区社会福祉協議会感謝デー(チャリティーバザーテント村)とリニューアルいたしました。

イベント、模擬店、アトラクションも多分今までと変化していると思いますが、たくさんの方が「わかばの広場」で地域交流ができます事を心よりお待ち申し上げます。

日時：10月28日(日) 11時～14時

場所：わかばの広場

内容：おでん、福祉もち、飲み物

他団体の模擬店

アトラクション

《福祉体験「孫子老の日」の 雨天中止に思う》

(地区社協子育て部会長 太田正廣)

平成30年度の孫子老の日は3年連続して雨天中止になった。孫子老の日を今年度企画した一人としては非常に残念でならないが、まずは孫子老の日の実施に先立ち協力いただいた数多くの方々、施設・組織の皆さんにお詫びと感謝を申し上げます。

孫は若葉台や近隣の小中高の児童・生徒、子は若葉台や近隣の成人世代、老は若葉台や近隣福祉施設利用者などを意味しています。

福祉体験「孫子老の日」ではその孫子老が一日家族になり、その家族が買い物や昼食、そしてアトラクションを一緒に楽しみ、ひと時ふれあうことで福祉とは何かを考え、多世代交流の



きっかけになることが期待されています。さらに福祉体験「孫子老の日」の名称からも読み取れるように、この孫子老の日は次世代を担う主に中学生がその感性が豊かな時期に福祉の経験を積む目的で実行されてきました。最近3年間は天候に恵まれず、残念ながら雨天中止になっている。今年の中学3年生は福祉体験「孫子老の日」を一度も経験すること無く、中学生を終えることとなります。来年の孫子老の日は、時期あるいは場所の変更なども含め、あるいは雨天も想定した内容にしないといけないと思いが強くなってきています。

始めから雨天も考慮した室内での孫子老の日を企画し、晴天ならば外に出てお買い物を一日家族で楽しむ方法も考えられます。数十名近くの車椅子の方と複数の孫・子らが一緒に食事を楽しむ、総勢100名近くの人々が集う会場は、若葉台にはそう多くはないと思う。しかし複数会場に分散したとしても、雨天の場合に実施可能で晴天にも対応できる内容とし、中学生が福祉体験をすることができ、次世代へ継承することも期待される実施方法を検討してはいかがかと思っています。

福祉体験「孫子老の日」はこれまで30年間に渡り実施されてきた歴史があります。しかし高齢化率50パーセントがすぐそこまでに来た今の若葉台では、後継者を育てると言う重要な課題解決のため

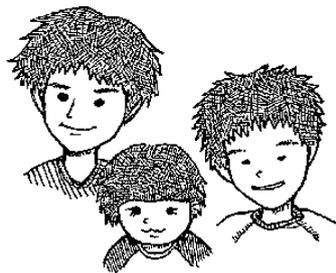
にも、再検討する時が来たと思う。孫子老の日についての全くの私見を述べさせていただきましたが、ご意見をお持ちの方は小生宛にあるいは身近の地区社協理事や役員等にお知らせいただければありがたいです。

《子育て》

子育て奮闘記

(寄稿者 宮本早由)

若葉台は自然豊かで、子どもが遊べる公園や広場も多数あり、生活に必要なお店や施設等が団地内に揃っていて、子育てするにはとても便利でいい環境です。長女の出産を機に地元である若葉台に戻ってきましたが、協力してくれる両親も近くにいてくれるので、とても安心して子育てができます。今年の春には次女が生まれ、気づけば5人きょうだいの母になっていました。毎日があっという間に過ぎていきますが、子ども達と一緒に、私も日々成長させてもらっています。



最近では三男のイヤイヤ期が特にひどく、末っ子のお世話や授乳もある為、上の子達にかなり助けてもらっています。特に長女は女の子とい

うこともあり、やはり一番頼りになる存在で、私との喧嘩も一番多いのですが、ブツブツ文句を言いながらもよく手伝ってくれています。先日修学旅行で家をあけた時は、静かでもいいわ~と思う反面、戦力半減で正直ちょっと困りました(笑)

真ん中3人は男の子なので、やはりついつい長女に頼ってしまいます。あんなに小さくて一人では何もできなかったのに、今では私を助けてくれる、いいお姉ちゃんになりました。



ほんとうに子どもの成長はあっという間です。と言っても、まだ今は下の子たちの大変な時期。もうしばらくは育児を楽しめそうです。

若葉台は一年を通してたくさんの行事やイベントがあり、子どもたちと参加することで、地域の方

とも交流ができ、毎年親子で楽しみにしている行事がたくさんあります。様々な世代の方と交流できるのも、団地ならではの楽しみです。受け継がれている良い伝統は残し、これからは若い世代の方たちの意見ももっと取り入れつつ、益々子育てしやすい若葉台になっていってくれたら嬉しく思います。若葉台の中心であるショッピングタウンも、少し前まではシャッターが閉まったままの店舗がいくつかあり、少し寂しく感じていましたが、これから子育て世代にも嬉しい施設がどんどん増えて、更に活気に溢れる若葉台になってくれる事を楽しみにしています。

《関係福祉機関紹介》

特定非営利活動法人「あさひ」

(代表者 鷹箸勝雄)

特定非営利活動法人「あさひ」は、平成26年4月に地元若葉台に誕生して今年で4年目になりました。身体に障害のある方・高齢で足腰が不自由な方の外出時に送迎活動をしています。ドライバーは定年を過ぎても未だ働けると思われる方が担い手となり自分所有の車を提供しています。病院に通院される方・養護学校に通学される方・買い物に行かれる方・旅行に行かれる方・お墓参りに行かれる方・そのほか公的機関・郵便局・銀行・利用は様々です。

「あさひ」は横浜を発着するのであればどの様な利用も出来ます。現在は若葉台14名・青葉区に2名・都筑区1名の計17名ドライバーが活動しています。利用するには会員登録が必要です「あさひ」に連絡すると担当者が書類を持って面談に行き手続きにお伺いいたします。活動地域は若葉台を中心とした旭区・緑区・青葉区・都筑区・瀬谷区を主体に保土ヶ谷区・泉区・南区・港南区で活動しています。

今までの実績は以下のようになっています。

26年度	1,331回	29年度	5,300回
27年度	3,132回	30年度	6,000回
28年度	4,500回	(予定)	

電話：045-883-8031、FAX：045-921-8553

拠点：旭区若葉台3-9-901

友愛活動について

(若葉台地区友愛活動部会代表 北村 秀雄)

1) はじめに

高齢者相互の心のふれあいを中心とする友愛活動は、老人クラブ発足以来の歴史を持ち、昭和61年からは全国運動として展開しています。平成23年から現在の組織体制となり友愛活動部会ができ、推進員制度に代わり、友愛活動員制度が発足いたしました。

2) 友愛活動について

①訪問活動。安否確認や話し相手、相談相手になります。

②見守り活動。対象者の安否確認として重要視されてきました。一声・声を掛けて安否の確認や、新聞、窓の灯り、洗濯物などにも目を配ります。

③居場所、たまり場づくり。外出する機会の少ない方を対象に、気軽に集まれる場所の提供をするものです。サロン、食事会、お茶のみ会等です。

④外出支援。日々の生活の中で困っていることをお手伝いする活動です。ゴミ出し、病院の予約や同行、お薬採り、散歩の援助、買い物手伝い等です。

3) 組織について

かがやきクラブ旭の中に旭区友愛部会が設けられ、下部組織として若葉台地区友愛部会があり、代表、副代表を配置しています。単位クラブは班として班長(会長)が活動員をまとめています。30年度の活動員は65名です。地区民生委員と地区友愛部会が協力して連絡調整会議を設けています。

4) 地区活動部会の活動について

年3回の情報交換会議を開催して、活動状況の報告など情報交換を行っています。参加数は毎回30名位です。地区民生委員との連絡調整会議は年2回の情報交歓会と年1回の合同研修会を外務講師を招聘し実施しています。研修会は毎回70人位の方が参加しています。また市、区の活動部会の主催する研修会に多数の方が参加して自己研鑽に勤めてい

ます。成果の見えない地道な活動ではありませんが、活動員のモチベーションの向上を図るとともに今後も関係組織のご協力を得ながら活動を推進して参ります。

《赤い羽根街頭募金報告》



(地区社協赤い羽根街頭募金担当 峰松雅子)

10月1日(月)～3日(水)までの10時から18時まで実施した街頭募金の結果を報告させていただきます。街頭募金にご協力くださいました多くの皆様誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

月日(曜日)	金額(円)
10月1日(月)	69,034
10月2日(火)	75,484
10月3日(水)	68,351
合計	212,869

下は1歳から80歳を超えた方々まで非常に多くの方々が募金をしてくださいました。毎日募金に来てくださった方、並んでいる募金箱3つに各々募金してくださった方もいました。特にジュニアボランティアと中央学童のこどもたち、若中の生徒さんが立ってくださった時間帯には、子供たちの大きくよく届く声に反応して下さったのか、孫のような可愛さを感じてなのか、非常に多くの方々が募金していただきました。金額はまちまちですが善意がたいへん多く詰まった金額になりました。



また、街頭に立って募金に協力していただいた方々は、若葉台かがやきクラブ、若葉台で福祉活動

を行っている諸団体、若葉台民児協、ジュニアボランティア、若葉台中学校の生徒、中央学童のこどもたちです。厚く御礼申し上げます。

なお、集まった募金の約7割は、募金をいただいた地域で使われています。上記以外に、大規模な災害が起こった時の災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するためにも使われています。

《振り込め詐欺にご注意を！》

サギ撲滅の2本柱

1 こんな言葉を電話で聞いたらサギだ!

「急にお金が必要! 用意して!」
 「キャッシュカードを預かります。」
 「ATMで医療費を還付します。」

2 留守番電話設定のお願い!

「犯人は留守番電話を嫌います。」
 「常に留守番電話設定を!」
 「留守番電話が作動する前に取らないで!」
 「迷惑電話防止機能付き機器の購入検討を!」

神奈川県警察

(9月17日現在の被害額)

旭区 54件、1億6000万円

※電話機は留守電モードにしましょう!

《若葉台地区社協の今後の行事》

- 若葉台地区社会福祉協議会感謝デー(チャリティーバザーテント村) 於わかばの広場
10月28日(日) 11時～14時
- 「ふれあいフェスティバル」 障がい者理解作品展 11月1日(日)～17日(土)
場所: 旧若葉台西中学校

【編集後記】

実行委員会の意見を取り入れチャリティーバザーテント村のタイトル・内容も少し変えてのイベントになります。又、住民一人一人に地区社協活動を目にふれていただける社協だよりをお届けする為、役員一同努力して作成しました。(み)

《編集委員》阿部昭子、入江ゆきよ、太田正廣、奥村利夫、熊谷善友、東海林知子、峰松雅子 (五十音順)

※社協だよりへの掲載記事を募集しています。ご希望の方はお近くの地区社協役員または下記メールアドレスまでお願いします。
Mail: wakabadai.chikushakyou@gmail.com

Walking Field active life keeping
alk 若葉台のショッピングタウンにある
ウォーキングと足の専門店
(スポーツ) (シティウォーク) (ハイキング等)



シューズ/ウェアなどの販売
足の相談やインソールの作成
ウォーキング体験会
フットケア
その他・グラウンドゴルフ用品の販売

ウォーキングフィールド アルク ショッピングタウン内駐車場有 2時間無料
横浜市旭区若葉台 3-3-1 ショッピングタウンわかば内 TEL&FAX 045-744-9859